資料提供招請に関する公表

次のとおり物品の導入を予定していますので、当該導入に関して資料等の提供を招請します。

平成30年3月16日

国立大学法人東京大学総長　五神　　真

◎調達機関番号　415　◎所在地番号　13

○第15号

1　調達内容

⑴　品目分類番号　14

⑵　導入計画物品及び数量　アトラス地域解析センター計算機システム　一式

⑶　調達方法　借入

⑷　導入予定時期　平成30年度12月以降

⑸　調達に必要とされる基本的な要求要件

A　欧州原子核研究機構（ＣＥＲＮ）において2009年から本格的な実験が開始されたアトラス（ＡＴＬＡＳ）国際共同実験のデータを解析するための国内拠点となる計算機システムであり、ＷＬＣＧ（Worldwide LHC Computing Grid）とよばれる国際的なグリッドの一部としての役割も担うシステムであること。

B　実験装置およびモンテカルロ・シミュレーションから生成される大量のデータと、その処理によって発生する二次的なデータを蓄積する、ディスクアレイ装置とテープライブラリー装置から構成される大容量の階層型記憶システムを持つこと。

C　データ処理およびモンテカルロ・シミュレーションを高速・大量に行なえる計算能力を有すること。

D　計算ノードとファイルサーバ間に高速なネットワーク接続を有し、大量のデータを高速に読み書きできる十分な入出力帯域をもったシステムであること。

E　対外接続のための十分なネットワーク帯域をもったシステムであること。

F　ＣＥＲＮおよび海外の解析拠点との間の、遅延の大きい国際ネットワークの帯域を有効に利用できるシステムであること。

G　ＷＬＣＧのソフトウェアなど各種のミドルウェアや、ＡＴＬＡＳ実験のアプリケーションソフトウェアが正しく動作できるシステムであること。

H　同時に多数のユーザが利用できるシステムで、インタラクティブな使用に加えて、バッチ処理を可能とするすぐれたジョブ管理機能を備えていること。

I　１日24時間、１年365日の連続運用が可能な信頼性のあるシステムであること。

J　ソフトウェアのインストレーションやバージョンアップ、システムの設定や構成変更などを容易に行なうことができ、システムの状況把握、障害の検知・通知などのモニター機能を備えたすぐれた運用管理システムをもつこと。

K　障害に迅速に対処するとともに、システムの運用を支援するサポート体制が保証されていること。

2　資料及びコメントの提供方法　上記１⑵の物品に関する一般的な参考資料及び同⑸の要求要件等に関するコメント並びに提供可能なライブラリーに関する資料等の提供を招請する。

⑴　資料等の提供期限　平成30年４月16日17時00分（郵送の場合は必着のこと。）

⑵　提出先　〒113―0033　東京都文京区本郷７－３－１　東京大学理学系研究科等事務部経理課経理チーム　大山　　勝　電話03―5841―3032

3　説明書の交付　本公表に基づき応募する供給者に対して導入説明書を交付する。

⑴　交付期間　平成30年３月16日から平成30年４月16日まで。

⑵　交付場所　上記２⑵に同じ。

4　説明会の開催　本公表に基づく導入説明会を開催する。

⑴　開催日時　平成30年３月23日15時00分

⑵　開催場所　東京大学理学部１号館西棟205号室

5　その他　この導入計画の詳細は導入説明書による。なお、本公表内容は予定であり、変更することがあり得る。

6　Summary

⑴　Classification of the products to be procured : 14

⑵　Nature and quantity of the products to be rent : The Computer System for the ATLAS Regional Analysis Center 1 set

⑶　Type of the procurement : Rent

⑷　Basic requirements of the procurement :

A　The computer system should work as the base in Japan for analyzing the data from the ATLAS experiment which is run by an international collaboration and started full-scale data taking in 2009 at European Organizaion for Nuclear Research (CERN). The system should also constitute part of the international Grid called WLCG (Worldwide LHC Computing Grid).

B　It should have a hierarchical storage system of a large capacity which consists of disk arrays and tape library units and holds a large amount of data generated by the detector of the experiment and Monte Carlo simulations and secondary data derived from them.

C　The system should have a large computational capacity for massive and fast data processing and Monte Carlo simulation.

D　The system should have fast network connections between computing nodes and file servers, and it should have a sufficient I／O bandwidth for reading and writing a large amount of data.

E　The system should have an enough bandwidth for the network connections to the outside world.

F　The system should be able to use effiently the bandwidth of the international network connections with large latencies to CERN and other analysis facilities in the world.

G　The system should be able to run properly various kinds of middleware such as the software for WLCG and the application software for the ATLAS experiment.

H　The system can be used by many users simultaneously and it should not only support interactive usage but also provide an excellent job management functions for batch usage.

I　The system should be reliable enough to operate continuously for 24 hours a day and 365 days per year.

J　The system should be equipped with a set of excellent tools for system management and operation which facilitates software installation and upgrade, setting and reconfiguration of the system, and provides monitoring functions such as viewing system status and detection and notification of failures.

K　The provider should ensure a maintenance and support system which can deal with troubles promptly and aid the operation of the computer system.

⑸　Time limit for the submission of the requested material : 17 : 00　16 April, 2018

⑹　Contact point for the notice : Masaru Oyama, Supply Section, Accounting Division, School of Science, the University of Tokyo, 7―3―1 Hongo Bunkyo-ku Tokyo 113―0033 Japan, TEL 03―5841―3032

資料提供招請に関する公表

次のとおり物品の導入を予定していますので、当該導入に関して資料等の提供を招請します。

平成30年3月16日

国立大学法人名古屋大学

財務担当理事　木村　彰吾

◎調達機関番号　415　◎所在地番号　23

○第４号

1　調達内容

⑴　品目分類番号　14

⑵　導入計画物品及び数量　スーパーコンピュータシステム　一式

⑶　調達方法　借入

⑷　導入目的　本システムは、高性能計算から大規模データの可視化、統計処理、データマイニング、大規模データ処理、大規模データベース、機械学習、などの様々な需要に対応し、大学等の広範囲にわたる学術研究を支援することを目的として、共同利用・共同研究拠点である本学情報基盤センターにおけるコンピュータシステムの一部として導入するものである。

⑸　導入予定時期　平成31年度６月以降